



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月4日  
上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社  
 コード番号 5301 URL <https://www.tokaicarbon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長坂 一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 佐藤 昭彦 TEL 03-3746-5100  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年9月30日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	185,095	28.0	17,669	137.9	17,547	183.9	9,559	818.6
2020年12月期第3四半期	144,623	△27.2	7,428	△84.7	6,181	△87.2	1,040	△96.6

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 25,225百万円 ( ー%) 2020年12月期第3四半期 △5,420百万円 ( ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年12月期第3四半期	円 銭 44.84	円 銭 ー
2020年12月期第3四半期	4.88	ー

(注) 前連結会計年度末において、Tokai Carbon Savoie International SASとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年12月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年12月期第3四半期	百万円 495,591	百万円 242,774	% 43.8
2020年12月期	459,709	224,815	43.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 217,182百万円 2020年12月期 201,267百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年12月期	円 銭 ー	円 銭 15.00	円 銭 ー	円 銭 15.00	円 銭 30.00
2021年12月期	ー	15.00	ー	ー	ー
2021年12月期 (予想)	ー	ー	ー	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	250,900	24.5	23,600	200.3	22,600	260.9	12,000	ー	56.29	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	224,943,104株	2020年12月期	224,943,104株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	11,762,091株	2020年12月期	11,771,256株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	213,177,407株	2020年12月期3Q	213,164,282株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2021年11月5日（金）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を電話会議方式で開催する予定です。この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期決算の経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年9月30日まで)の世界経済は、国・地域毎の濃淡は見られるものの、総じて言えば、コロナ禍によるボトム水準からの回復過程にあります。先進国を中心に、ワクチンの普及によるコロナ沈静化の動きも見られる一方、感染力の強い変異株の出現やワクチン普及が進まない新興国・発展途上国との格差が、コロナ禍の収束を不透明にしております。また、半導体不足等、サプライチェーンの混乱や資源価格の高騰が、世界経済の先行きに不透明感を加えております。

この様な情勢下、当社グループにおいては、本年5月に公表したローリング中期経営計画「T-2023」の中で「主力事業の成長軌道回帰」「事業ポートフォリオの最適化」「連結ガバナンス体制強化」の3つの基本方針を掲げ、2023年の売上高3,200億円、営業利益570億円、ROSI8%の達成を目指しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比28.0%増の1,850億9千5百万円となりました。営業利益は前年同期比137.9%増の176億6千9百万円となりました。経常利益は前年同期比183.9%増の175億4千7百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比818.6%増の95億5千9百万円となりました。

セグメント別の経営成績は下記のとおりです。

## [黒鉛電極事業]

世界の粗鋼生産は順調に回復しており、これに合わせて黒鉛電極市況反転の兆しも見られるものの、対面業界との比較では市況回復は遅れており、エネルギーや資材価格上昇も相俟って、苦戦を余儀なくされました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比6.2%減の283億9千8百万円となり、営業損失は1億8千8百万円(前年同期は3億1千8百万円の営業利益)となりました。

## [カーボンブラック事業]

米国南部で発生した大寒波により米国生産拠点の販売が一時低下したものの、中国の自動車生産の急回復や世界的なタイヤ及び自動車部品産業の需要回復もあり、全生産拠点の販売量は前年同期比で増加しました。また稼働率の上昇に伴う原価率の改善及び原油価格の上昇に伴う売価の調整等により営業利益も前年同期比で増加しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比43.4%増の722億6千2百万円となり、営業利益は前年同期比931.1%増の66億8千4百万円となりました。

## [ファインカーボン事業]

半導体、太陽光発電向け販売は引き続き堅調に推移しました。また一般産業向けも回復基調に転じました。高付加価値商品であるソリッドSiC(シリコンカーバイド)製品においても世界的に旺盛な需要を背景に好調となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比21.1%増の285億5千1百万円となり、営業利益は前年同期比40.2%増の70億1千6百万円となりました。

## [精錬ライニング事業]

アルミ一次地金価格は高値で推移しており、地域やユーザーにより濃淡はあるものの、アルミ精錬用カソードの販売は総じて好調を継続しました。また、フランスの炭素黒鉛製品メーカーTokai Carbon Savoie International SAS(旧商号Carbone Savoie International SAS)及びそのグループ会社を2020年8月より本セグメントに含めており、これが連結業績に寄与しております。

この結果、当事業の売上高は前年同期比51.8%増の352億1千9百万円、取得原価配分に伴う評価差額に関わる償却費及びのれん償却費等調整後の営業利益は前年同期比大幅増の12億2千万円となりました。

[工業炉及び関連製品事業]

工業炉の販売は、主要な需要先であるエネルギー関連業界向けが好調であり前年同期比増となりました。発熱体その他製品の販売は、電子部品業界向け及びエネルギー関連業界向けが堅調に推移したため、前年同期比増となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比24.1%増の114億2千7百万円となり、営業利益は前年同期比45.0%増の33億6千万円となりました。

[その他事業]

摩擦材

世界経済の回復とともに、建機、農機、二輪、電磁の各用途向け販売が増加しました。

この結果、摩擦材の売上高は前年同期比42.8%増の65億9千万円となりました。

負極材

負極材市場における新興勢の台頭等により競争が激化し前年同期比で販売が減少しました。

この結果、負極材の売上高は前年同期比20.9%減の25億4千4百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比5.1%減の1億1百万円となりました。

以上により、その他事業の売上高は前年同期比16.3%増の92億3千6百万円となり、営業利益は前年同期比220.4%増の6億3百万円となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	67,174	71,515
受取手形及び売掛金	41,438	51,432
商品及び製品	14,890	18,604
仕掛品	30,638	31,182
原材料及び貯蔵品	18,269	21,330
その他	5,490	5,529
貸倒引当金	△224	△216
流動資産合計	177,678	199,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,150	26,320
機械装置及び運搬具（純額）	59,870	72,624
土地	7,604	7,682
建設仮勘定	24,672	25,655
その他（純額）	7,709	7,532
有形固定資産合計	125,007	139,813
無形固定資産		
のれん	60,316	56,552
顧客関連資産	62,438	58,804
その他	10,594	9,806
無形固定資産合計	133,349	125,162
投資その他の資産		
投資有価証券	17,492	22,794
退職給付に係る資産	2,729	2,668
繰延税金資産	2,611	4,780
その他	890	1,037
貸倒引当金	△50	△45
投資その他の資産合計	23,674	31,235
固定資産合計	282,031	296,212
資産合計	459,709	495,591

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,500	17,715
電子記録債務	3,147	3,784
短期借入金	3,065	2,000
コマーシャル・ペーパー	40,000	50,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	8,813	14,209
未払法人税等	3,094	2,501
賞与引当金	1,754	2,621
その他	17,279	17,116
流動負債合計	92,656	119,948
固定負債		
社債	55,000	55,000
長期借入金	51,764	39,227
繰延税金負債	21,409	24,151
退職給付に係る負債	7,544	7,779
役員退職慰労引当金	82	87
執行役員等退職慰労引当金	73	55
環境安全対策引当金	431	290
その他	5,932	6,275
固定負債合計	142,237	132,867
負債合計	234,894	252,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	17,338	17,350
利益剰余金	166,017	169,181
自己株式	△7,248	△7,244
株主資本合計	196,543	199,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,436	10,133
繰延ヘッジ損益	△70	△0
為替換算調整勘定	△3,529	6,481
退職給付に係る調整累計額	887	844
その他の包括利益累計額合計	4,723	17,458
非支配株主持分	23,548	25,592
純資産合計	224,815	242,774
負債純資産合計	459,709	495,591

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	144,623	185,095
売上原価	106,093	133,675
売上総利益	38,529	51,420
販売費及び一般管理費	31,101	33,750
営業利益	7,428	17,669
営業外収益		
受取利息	156	189
受取配当金	343	366
持分法による投資利益	112	40
為替差益	—	492
その他	553	698
営業外収益合計	1,166	1,788
営業外費用		
支払利息	692	780
為替差損	258	—
その他	1,462	1,129
営業外費用合計	2,413	1,910
経常利益	6,181	17,547
特別利益		
固定資産売却益	41	211
投資有価証券売却益	—	47
特別利益合計	41	258
特別損失		
固定資産除却損	—	47
解体撤去費用	—	30
関係会社清算損	—	24
固定資産売却損	0	3
災害による損失	446	—
投資有価証券評価損	117	—
特別損失合計	565	105
税金等調整前四半期純利益	5,657	17,700
法人税、住民税及び事業税	4,227	6,186
法人税等調整額	△1,543	△1,002
法人税等合計	2,684	5,184
四半期純利益	2,972	12,515
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,932	2,956
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,040	9,559



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	2,972	12,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,013	2,697
繰延ヘッジ損益	△132	69
為替換算調整勘定	△6,010	9,879
退職給付に係る調整額	△268	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	32	105
その他の包括利益合計	△8,392	12,709
四半期包括利益	△5,420	25,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,535	22,294
非支配株主に係る四半期包括利益	1,114	2,931

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	精錬ライ ニング事 業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	30,282	50,400	23,582	23,208	9,207	136,682	7,941	144,623	—	144,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120	43	99	0	422	685	0	685	△685	—
計	30,402	50,444	23,682	23,208	9,630	137,367	7,941	145,309	△685	144,623
セグメント利益	318	648	5,004	22	2,317	8,311	188	8,499	△1,071	7,428

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,071百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,038百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント利益は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	精錬ライ ニング事 業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	28,398	72,262	28,551	35,219	11,427	175,858	9,236	185,095	—	185,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	97	56	96	34	628	912	—	912	△912	—
計	28,496	72,318	28,647	35,253	12,055	176,771	9,236	186,008	△912	185,095
セグメント利益又は損 失(△)	△188	6,684	7,016	1,220	3,360	18,092	603	18,696	△1,027	17,669

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,027百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△984百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2020年7月17日に行われたTokai Carbon Savoie International SASとの企業結合について前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

これに伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、無形固定資産である技術関連資産に1,028百万円、建物に577百万円、土地に501百万円、繰延税金負債に573百万円等が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額3,077百万円は、1,647百万円減少し、1,429百万円となっております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、売上原価及びのれん償却費が減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ23百万円増加しております。